

第8回糸賀一雄記念未来賞受賞者・団体紹介

特定非営利活動法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(東京都世田谷区)



※「舞台手話通訳者のための集合研修 in 豊橋」

<https://blog.canpan.info/ta-net/archive/798>

■活動歴

2012年 観劇支援団体シアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)を設立。

2013年 NPO認証を受ける。

聴覚障害を持つ当事者が中心となり、演劇愛好者、手話通訳者、演劇人とともに活動を展開。
2014年から視覚障害者へ、2018年から盲ろう(視聴覚二重障害)者へと観劇サポート活動を広げている。

2015年 舞台手話通訳カリキュラム作成委員会を立ち上げ、養成講座を開講(2016年)。

2016年 観劇サポート支援推進提言委員会を立ち上げ、「多様な人々に開かれた観劇サポートシステムの構築に向けた10の提言~聴覚障害者編~」を発表。

2018年~2019年 舞台手話通訳養成講座を全国6カ所で開講。

2020年~全国各地より相談を受けながら、観劇サポートのつく舞台を増やすべく相談・助言・協働・舞台手話通訳派遣を行っている

■活動内容

- ・演劇などの舞台における情報保障(オープン・クローズド字幕、舞台手話通訳、視覚障害者向け音声ガイド)の普及促進、人材育成、調査研究開発、関係団体との連携など、潜在する観劇希望者への情報提供と利用機会の促進に寄与する活動を展開し、文化芸術分野における合理的配慮、アクセシビリティ対応の展開を先駆的に実践している。
- ・観劇サポートに付随するものとして、受付での手話・筆談対応、アフタートークの手話通訳付与などのサポートも推奨し、劇団劇場と協働しながら、舞台手話通訳や字幕、音声ガイドを装備した演劇作品を多く生み出している。

聴覚障害を持つ当事者を中心に活動を展開し、視覚障害者、視聴覚二重障害者へと活動を広げていることが素晴らしく、生活を送るうえで大切な文化芸術活動への障害者に対する合理的配慮やアクセシビリティ対応の先駆的な取り組みが高く評価され、今後ますますの活躍が期待されるとして、糸賀一雄記念未来賞の受賞となりました。